

**令和元年 7月 24日**

**東京 2020 オリンピック 1年前セレモニー 安倍総理挨拶**

バッハ会長を始め、I O C（国際オリンピック委員会）委員、各オリンピック委員代表の皆様、ようこそ日本へいらっしゃいました。心から歓迎したいと思います。

6年前、東京招致が決まったブエノスアイレスの地において、大会成功に向けて、全力を尽くしていくことを、皆様にお約束いたしました。この間、I O Cの助言の下、組織委員会と東京都の緊密な連携により、準備を進めてまいりました。メイン会場のオリンピックスタジアムも、本年11月の完成が予定されています。この準備状況については、I O Cの皆様からも、大変高い評価を頂き、うれしく思っています。

2011年、日本は、東日本大震災によって甚大な被害を受けました。その中で、世界中の皆様から御支援を頂きながら、一步一步、復興に向けて前進してまいりました。あの時、世界中の皆様から頂いた御支援に対する、ありがとうのメッセージをお伝えするとともに、未曾有の大災害から復興を成し遂げつつある東北の姿を、世界中に発信していきたいと思えます。

また、大会を通じた人と人との出会いは、オリンピックの大きな意義ではないでしょうか。大会を、日本全国の皆様の、温かな思いの詰まったものとするためにも、参加する国・地域と地方自治体をつなぐ、ホストタウンを設けて、交流の発展につなげていきたいと考えています。

そして、ユニバーサルデザインの推進、多様で魅力的な文化の発信など、2020年の、その先を見据えて、歩みを進めてまいります。

スポーツこそは、世界をつなぐ。そして万人に、等しい機会を与えるものがスポーツであります。このことを、私たちは、55年前の東京大会から学びました。来年の大会は、改めて、このことを世界に示す機会にしたい。

アスリートが、自分の限界を超えて挑む姿は、私たちに大きな夢と感動を与えてくれます。その舞台は、着実に整いつつあります。

1年後、ここ東京で再び皆様とお会いし、オリンピックの感動を共に分かち合うことができることを、心から楽しみにしております。本日は本当にありがとうございました。